

各委員からの質問・意見について（第 1 回会議終了後）

- 1 保護者の立場からでも発言しやすいような雰囲気づくりはできないか。
- 2 委員の発言の時間を多く取っていただきたい。また、各委員からの意見書の配布を認めていただきたい。
- 3 掘り下げた議論が必要な事項について、必要に応じて部会を設置してはどうか。
- 4 ニーズ調査の設計に当たっては、地域の特徴が適切に反映されるよう、当事者や関係者の意見を聴くべき。また、抽出調査であるため、一部のサンプルや意見に偏ることのないよう、施設の実態や運営事業者の意見も併せて把握すべき。
- 5 教育・保育は、質の高さが最優先。「原則認可」とされたが、内容面での質の高さを担保する方法、質に関する千葉市固有の基準を検討していただきたい。例えば、教育要領や指針に基づく教育計画・保育計画はチェックする必要がある。
- 6 公立保育所が直接契約になると、公立保育所間で競争が促され、利用料を適切に設定しなければ、保育の質が下がるのではないか。
- 7 小規模な保育所は資金繰りが厳しく、人件費や設備費等の抑制につながり、保育の質が下がるのではないか。
- 8 「認可制度の改善」により、株式会社の参入が容易になると思われるが、千葉市独自の認可基準を設定できるのか。
- 9 育てたい子ども像は、行政ではなく市民自身が作り上げるべきもの。また、さまざまな価値観がある中で、ひとつの「子ども像」の押し付けになってはならない。多様なニーズに合ったサービスを提供し、選択できることが必要ではないか。
- 10 子育て会議や新制度は、保護者に十分に認知されておらず、PRが必要。保護者委員として、分かりやすいチラシを配布するなどの取組みができないか。
- 11 タイムスケジュールの中で議論を進めていくためにも、電子メールなどを使って、事務局から情報提供いただけるとよい。また、委員同士が自主的に情報を共有することができるとよい。